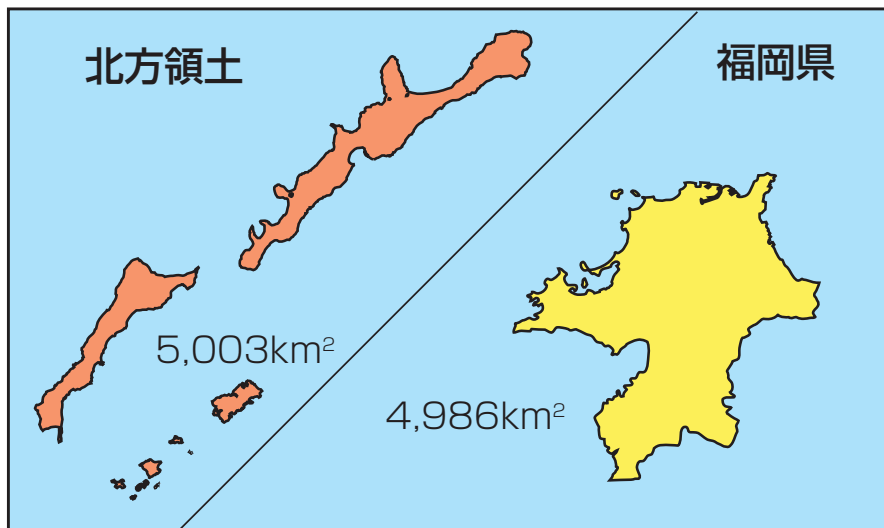


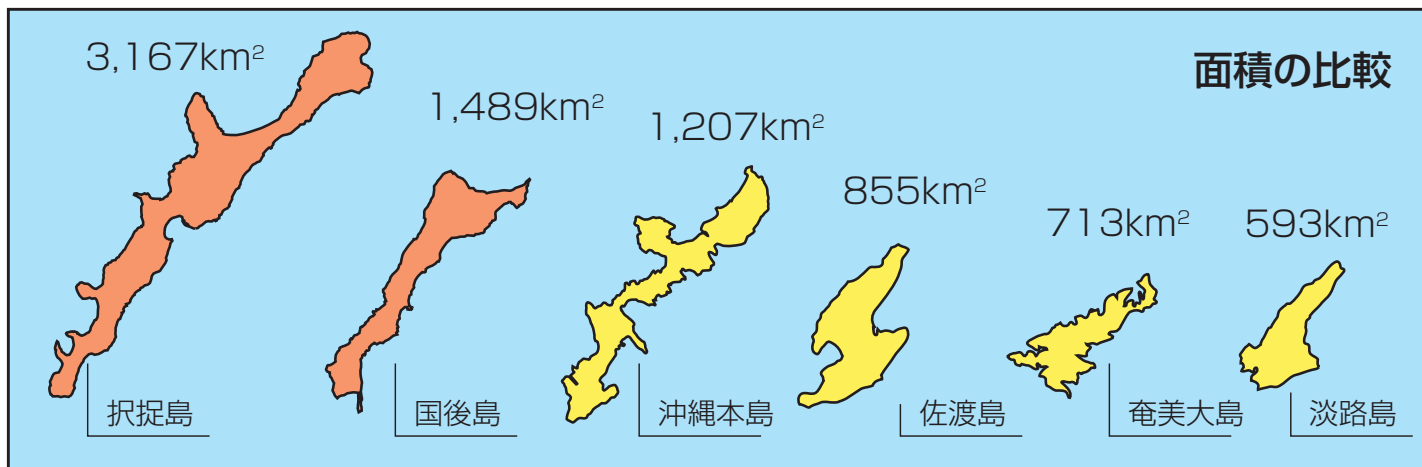
こんなに近い・こんなに広い北方領土



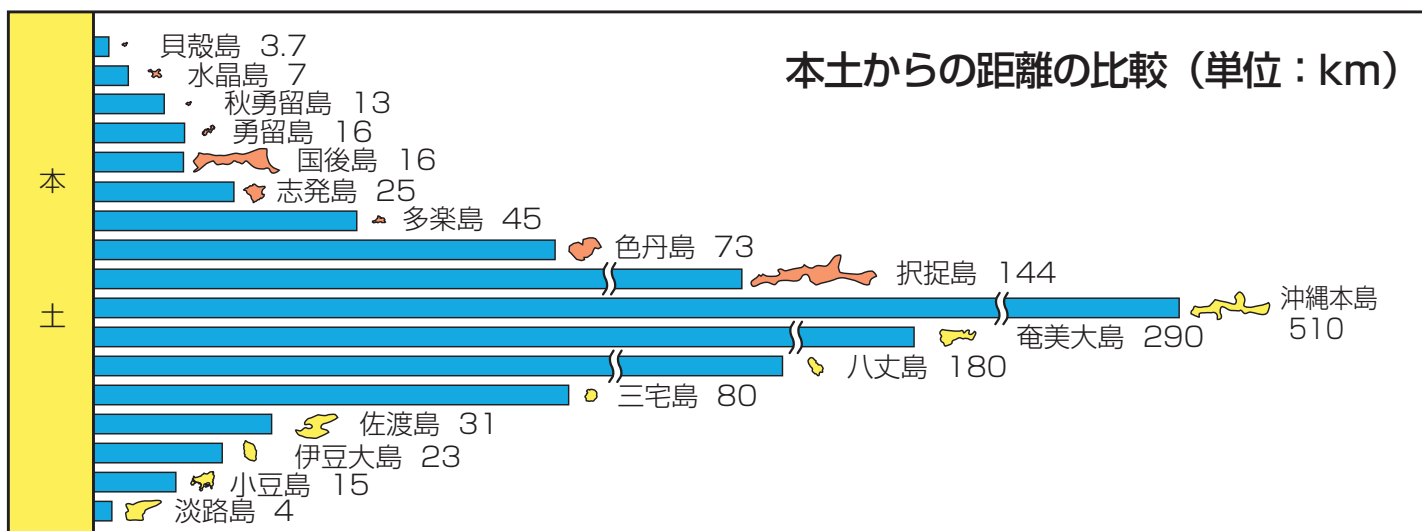
北方領土の面積は全体で5,003km²あり、福岡県とほぼ同じ広さがあります。

北方領土の中でも最も北海道に近い歯舞群島の貝殻島は、のさつが納沙布岬からわずか3.7kmしか離れていません。

◀ 面積の比較



注) 「平成26年全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)などによる。



北方領土の豊かな自然

北方領土の気候風土は、北海道の根室や釧路の海岸地方とほぼ同じで、いちばん暑い8月でも月平均16℃です。

歯舞群島と色丹島は、もともと根室半島と陸つづきだったとされ、地質的にも根室

半島とほぼ同じで、ゆるやかな丘陵地になっています。国後島と択捉島は千島火山帯が走っているため山が多く、数多くの湖沼が散在しているのが特徴です。



▲ ブニの浜（国後島）



ハマナスの花▲



▲ ヤンケトウから見る散布山(ちりっぶやま)(択捉島)



▲ ロウソク岩（国後島）



▲ 船上から望む穴澗湾（色丹島）

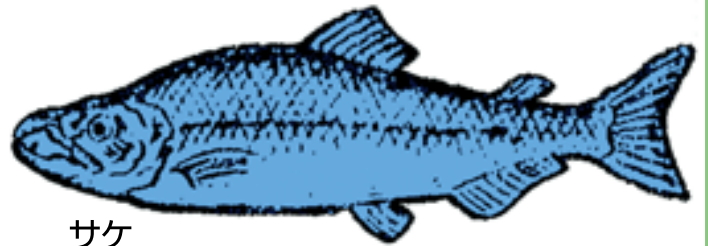


▲ 材木岩（国後島）

北方領土の水産資源

北方領土の周辺の海は暖流（日本海流）と寒流（千島海流）が交わっていることから、世界三大漁場のひとつに数えられています。水産資源の種類は、さけ・ます・にしん・たら・かれい・花咲がに・たらばがに・ほたて貝・ほっき貝・こんぶ・のりなどたいへん種類が多く、漁業が産業の中心になっていました。

▼ 写真（上）／色丹島でのタラの乾燥風景（戦前）
写真（下）／歯舞群島・志発島のかん詰め工場（戦前）



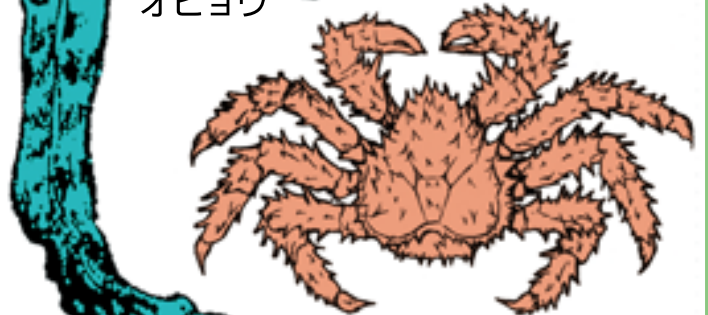
サケ



スケトウダラ



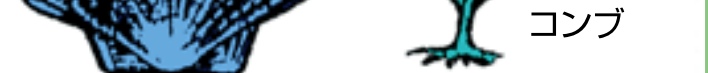
オヒョウ



ハナサキガニ



ホタテ貝



こんぶ